

令和6年度 南地区 幼保小教育交流事業活動報告

活動テーマ

「after コロナの園生活から小学校生活への
スムーズな接続・連携を図るために」

1 活動テーマについて

コロナによる制限がなくなり園児・児童の交流がもとに戻ったことから、「架け橋プログラム」や幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識した交流や職員の連携が図れるようにブロック毎に工夫していきます。

南区交流事業 対象の園・校数

☆こども園	1園
☆幼稚園	13園
☆保育園	36園
☆小学校	17校

2 年間活動報告

- ① 総会・園長校長会等
5月13日(月) 藤の木小学校
- ② 公開保育・公開授業
南区一斉授業研究会 11月13日(水) 1月29日(水)
- ③ 健やか子育て講演会 11月 7日(木)
- ④ 研修会等
南区生活科・総合的な学習の時間研究会
8月生活科研修「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿をヒントに
生活科の活動を考える」



3 健やか子育て講演会

日時 11月7日(木) 南区役所会議室

講師 橋口 奈生 先生

(一般社団法人Seeds growth coaching代表理事)

演題 「子どもの力を引き出すコーチングコミュニケーション」

各園校の職員、保護者 47名 参加
橋口先生からは「承認」をテーマにしたお話をいただきました。グループワークを交えながらの講演で参加者同士の話し合いも盛り上がりしました。あっという間の90分でした。

令和6年度 横浜市内 幼保小教育交流事業

健やか子育て講演会

演題 「子どもの力を引き出すコーチングコミュニケーション」

テーマ 「承認」

講師 橋口 奈生先生 (一般社団法人 Seeds growth coaching 代表理事)



国際コーチ連盟 (IFC)
認定プロフェッショナルコーチ (PCC)
(財) 生涯学習開発財団プロフェッショナルコーチ
米国 NLP 協会認定マスタープラクティショナー

1 日時 令和6年11月7日(木)
午後3時00分～午後4時30分
(受付) 午後2時40分～

2 会場 南区役所 7階 (701・702会議室)
〒220-8501 横浜市南区浦子町2-33
市営地下鉄ブルーライン「阪東橋駅」18出口徒歩8分
京浜急行「黄金町駅」徒歩14分

3 対象 区内幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校の
職員・保育士・保護者の方



4ーAブロック活動報告

お三の宮日枝幼稚園 れんげ幼稚園

睦保育園 きらり保育園吉野町 アスク吉野町保育園 三春台保育園

清水ヶ丘保育園 めいとく保育園 横浜みなみ薫保育園

日枝小学校 太田小学校



Aブロック【テーマ】
「にこにこ交流♪」
～つながるって素敵だね～



小学校と園の職員とで交流会をもち、実践紹介を行った。講師を交えて架け橋期の子どもの姿や大切にしたいことなどを自由に語り合った。

入学説明会時に園の職員を講師として、新入学児童を対象に教室で授業を行った。

小学校の校庭を開放し、放課後に園に使用してもらった。

入学説明会では、小学校体験授業を企画した。馴染みのある遊びで園児の気持ちがほぐれ、不安を和らげることができる。また、小学校と園の職員と一緒に子どもを見取ることで、子ども観を共有し、ブロック職員同士の連携強化につながると考える。

1年生が、「どうしたら年長さんが安全に楽しめて、仲良くなれるか」を考えて、交流の準備することによって、2年生になる自覚と責任感をもつことができた。
・1年生が、自分たちで準備した交流会で、年長児が楽しんでもらったことで達成感をもつことができた。

4ーBブロック活動報告

永田小学校 永田台小学校
南聖心幼稚園 山王台幼稚園
永田保育園

Bブロックテーマ「輝け、五つ星！」

～安心した環境の中で、子どもの育ちと学びをつなぐ、
連携から協働へ～



一年生の児童から園児と「一緒に遊びたい!」という声がかかるよう、朝の読み聞かせの時間に園長先生に来ていただいた。児童が日常生活の文脈の中で園と出会うことで、自分達で交流を創っていくきっかけとした。



「一緒に遊ぶ」中で自然と関係を築いたり深めたりするよう、生活科の季節単元と関連させた交流を設定した。単元を繰り返すことで、名前呼び合うようになる等児童と園児の関係性の深まりが見られた。



予定が合う時は、1年生児童が交流のふり返しをしている授業を園の先生が教室に来て参観したり、逆に、園の土曜参観に1年生担任が参加したりした。そうすることで、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムへの理解、そして園での学びを小学校に生かすことにつながった。

4-Cブロック活動報告

くるみ幼稚園 横浜白山幼稚園

久良岐保育園 別所保育園 大岡おひさま保育園 上大岡ラビット保育園
キッズパートナー弘明寺 プチ・ナーサリー弘明寺 大岡はるかぜ保育園
藤の木小学校 南小学校 別所小学校



秋には、藤の木小学校の校庭で、運動会の演技リハーサルを保育園のお友達に見せて、一緒に楽しんだ。
冬は、保育園のお友達を藤の木小学校で、一年生の授業を見たり、一緒に遊んだりして交流した。



1年生が、秋の遠足や公園たんけんて集めた秋の木の実や落ち葉で遊びを考えて、年長児を招待しました。今年度初めての交流でしたが、1年生の元気いっぱい誘いに年長児も緊張がほぐれて、楽しくかわる様子が見られました。

Cブロックテーマ
「みんな輪になり手をつなごう」
～子どもの主体性を大切に～



どんぐりや落ち葉など、身近な秋の自然物を利用した交流を設定した。一年生は年長児に優しく声を掛けたり、遊び方を説明したりするなど、相手意識をもって進んで交流する姿が見られた。この交流を通して、年長児も一年生という年の近い人と関わる楽しさを感じることができたように思われた。

4-Dブロック活動報告

玉泉寺幼稚園

しろばら保育園 中村愛児園 みなみマノ保育園

やすらぎ保育園 京急キッズランド 黄金町保育園

南吉田小学校 石川小学校 中村小学校

Dブロックテーマ

「顔の見える交流を通して園生活から小学校生活へのスムーズな接続・連携を図る」



保育園に図書委員会児童が訪問し、年長児に読み聞かせを行った。園児は委員の読み聞かせを熱心に聞いていた。委員はとても緊張した様子だったが、交流会後「楽しそうに聞いてくれて嬉しかった。」「また行きたい。」と話していた。



1年生生活科「あきとともにだち」で秋遊びのお店屋さんで園児を招待。園児は遊びを思い思いに楽しんだ。園の先生ら、卒園児である児童に成長を認める声掛けが多数あり児童は大変嬉しそうだった。



図工「カラフル色水」では、年長さんと一緒に色水づくりをしました。事前に1年生だけで活動していたので、見通しをもって年長さんにも「何色がいい?」「こうやってふると色がかわるんだよ。」と教える姿が見られた

4-Eブロック活動報告

Eブロック テーマ

あかるく いつでも さりげなく つづける

～挨拶から始まる安心できる心の通い合う交流～



井土ヶ谷幼稚園 南若宮幼稚園
アスクいどがや保育園 アイソ明寺保育園 井土ヶ谷保育園
くらき永田保育園 京急キッズランド井土ヶ谷駅保育園
たけのこ永田東保育園

ひびき井土ヶ谷保育園 ララランド井土ヶ谷保育園
井土ヶ谷小学校 大岡小学校

“サークルタイム”は、子どもが輪になって座り話し合う活動で、思いを知ることによって理解が深まる機会となる他、考えを巡らす過程も大切で、お互いの顔を見ながら対話する貴重な時間となっています。『大人も顔が見える対話しやすい関係が大事』という共通認識のもと、1年生教諭と、年長児担任が集い対話しました。



園にどうぞday♪園での生活や活動の中に、遊びが学びに繋がっているキラリと光る場面があります。小学校の先生にも見て感じてほしい、園同士の保育・教育に触れ語り合える場がほしい、そして「小学校の夏休み期間なら午前に行ける」という声もあり夏季に開催。



ちょこっと交流（園だよりを届ける、気軽に学校に訪問）日常的な関わりを積み重ねることを通して、園児が小学校の人たちと顔の見える関係ができ、気軽に話がしやすい存在となりました。

4-Fブロック活動報告

南白ゆり幼稚園 マヤ幼稚園

よこはま風の遊育園 六ッ川西保育園 六ッ川みどり保育園 六ッ川台保育園
六ッ川台小学校 六ッ川小学校 六ッ川西小学校

Fブロックテーマ

「園生活から小学校生活への
スムーズな接続、連携を図る」



来年の春に向けて、1年生と年長組さんのペアを作り、自己紹介を合わせた後、いっしょにチューリップの球根を植えた。また、その後、交流活動として2チームに分かれて「鬼ごっこ」と「はじめのいっぽ」を行った。名前をおぼえて仲良くなれたことを喜んでいた。

1年生は、学校内をガイドしたり、自分たちが大好きなモルモットを紹介したりしたいと考えている。また、自分たちが考えた遊びをやってもらったり、サプライズをしたりしたいと思いを膨らませている。

5年生の総合「心をつかめ!保育園プロジェクト~どんどん伸ばせ!最高(優しい・すごい・安心)の芽~」では、保育士の助言をいただき、どのように接すればいいのかと考える姿が見られた。

4ーGブロック活動報告

三星幼稚園 杉山神社幼稚園 白百合光の子幼稚園 横浜英和幼稚園
南愛児園 小学館アカデミーまいた保育園 小さな足あと保育園 蒔田ひまわり保育園
蒔田小学校 南太田小学校



Gブロックテーマ「after コロナを迎えたことを機に、幼保小の交流をより深められるよう、再構築をしていく」

コロナ明けの活動であったが、子どもたちが交流できる機会を作れることができた。
限られた時間ではあったが、職員交流も行うことができた。各小学校の先生による時間割の調整や実施計画の作成、各グループメンバーへの配信など、協力し合える環境ができたことはとても有難いものだった。一方、交流事業の実施時期については、猛暑や感染症の流行期と重なり、一部、中止になったことから、次年度の検討事項としたい。諸先生方の負担にも配慮し、今後も交流会が気兼ねなく継続できるようにしていきたいと思う。今年度のテーマである「after コロナを迎えたことを機に、幼保小の交流をより深められるよう、再構築をしていく」は、皆のご協力のお陰で達成できた。

5 成果と課題 来年度に向けて

成果（◇来年度取り入れたい活動）

- ・ 対面での交流が増えた。
- ・ 1年生と園児の交流が増えた。
- ・ 職員同士の交流も増え、子どもの姿を語り合うことができた。
- ・ 園から学校、学校から園など、双方向の交流ができた。
- ・ 「健やか子育て講演会」に保護者・教職員の参加し、かかわりを考える機会となった。

課題

- ・ 毎年のパッケージ化された取組から、子どもが主体的に考える交流に進化させる必要がある。
- ・ ブロックの連絡が難しい。10施設以上のブロックもある中で参加や連絡状況（メール・FAX・電話など）に偏りがあり、取りまとめる担当に負担が集中した。

来年度取り組みたいこと

活動時期や内容を改めて精査し、顔の見える関係を維持しながら、今ある資源を活用した持続可能な取組を継続して行う。オンラインなどの活用も効果的に進めたい。